

元気いっぱい 友だちいっぱい
すくすくと学ぼう 夢いっぱい



横浜市立美しが丘小学校 令和2年 1月 7日

美小通信 9

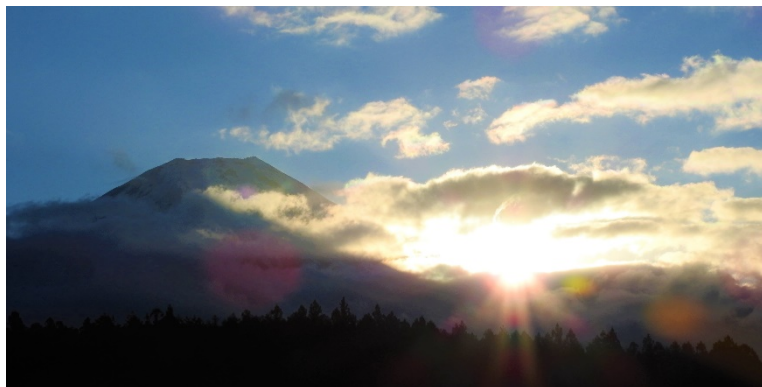
横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。
URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 松瀬 歩
青葉区美しが丘2丁目29
電話(901)3408

和

校長 松瀬 歩

今年のお正月は、静岡県の朝霧高原に令和初の初日の出を見に行ってきました。雲が多く初日の出を見ることができか心配されましたが、雲の間から太陽の光が射した瞬間、周りから大きな歓声が上がりました。そして、しばらくすると人の声は消え、ほとんどの人たちは目を細めながらじっと太陽を見つめていました。



その姿は自然の美しさに息をのむというよりは、畏敬の念を感じているように見えました。私も今年1年、どうかいい年でありますようにと自然に心の中で手を合わせていました。

あけましておめでとうございます。いよいよ2020年のスタートです。今年は、東京オリンピック・パラリンピックイヤーで、横浜でも野球・ソフトボール・サッカーが行われ、歴史に残る1年になります。また、学校でも新学習指導要領が全面实施され、外国語(英語)の高学年教科化、評価の観点の変更等様々な教育改革が行われ、大きな節目の年となります。時代の流れに合わせて、教育も時代に合ったものになってきましたが、その一方で不易なものもあります。

昨年12月の初めの朝会で、今年(令和元年)の漢字は何になるかを話題にしました。2011年東日本大震災の年は『絆』であったことや、2016年ロンドンオリンピックの年は『金』であったことを紹介しながら、皆さんにとってこの1年間を漢字一字で表すと何になるか考えてみてくださいという話をしました。そして、2学期の終業式では、「令和元年の漢字」について次のような話をしました。

「令和元年の漢字は令和の『令』になりました。『令』には立派なという意味があります。皆さんの終業式に参加する態度は大変立派ですが、美小にとっての今年(令和元年)の漢字は令和の『令』より『和』のほうがふさわしいと思います。どうしてかというと、『和』には、おだやかな、のどか、仲良くする、二つ以上の数を加えたもの等の意味があり、令和元年は、おだやかな気持ちで、みんなで協力して、400人以上の美小のみんなが一つになったからです。もちろん、仲良くできなかったなあと振り返っている人もいるでしょう。来年(令和2年)はみんながもっと仲良く過ごせるようにという願いも込めて、美小の今年の漢字は『和』がいいなあと思いました。」

「令和元年の漢字は令和の『令』になりました。『令』には立派なという意味があります。皆さんの終業式に参加する態度は大変立派ですが、美小にとっての今年(令和元年)の漢字は令和の『令』より『和』のほうがふさわしいと思います。どうしてかかというと、『和』には、おだやかな、のどか、仲良くする、二つ以上の数を加えたもの等の意味があり、令和元年は、おだやかな気持ちで、みんなで協力して、400人以上の美小のみんなが一つになったからです。もちろん、仲良くできなかったなあと振り返っている人もいるでしょう。来年(令和2年)はみんながもっと仲良く過ごせるようにという願いも込めて、美小の今年の漢字は『和』がいいなあと思いました。」

人と人とが結びつき、おだやかな気持ちで過ごすために必要な気持ちやスキルを育てることはいつの時代にもとても大切なことです。令和2年も『和』を大切に、家庭・地域・学校が一つになって、子どもたちがおだやかな気持ちで過ごせるように努めてまいりたいと思います。今後とも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします